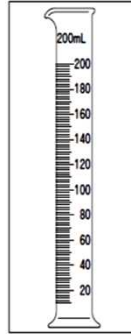


1 ゆかりさんたちは、アイスマルクティーとそれに入れる砂糖水さとう水をつくることにしました。

(1) としおさんは、砂糖水をつくるために、水 100 mL を右のような器具を使ってはかりとることにしました。としおさんが使った器具の名前を書きましょう。



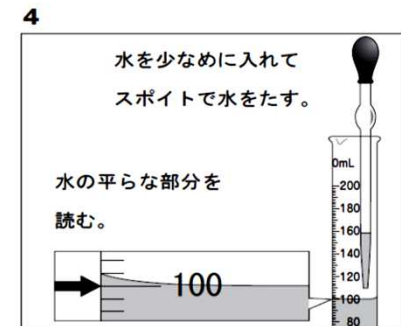
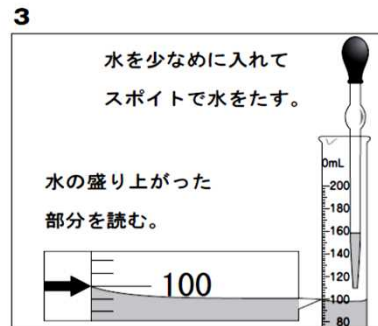
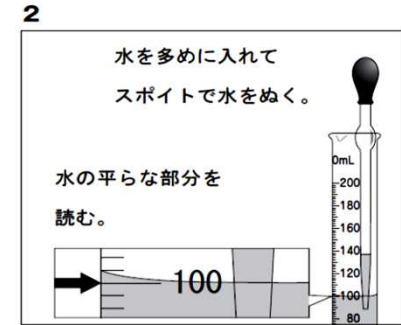
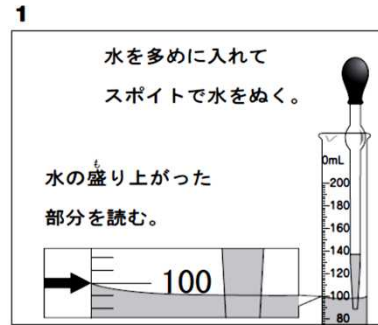
としおさんが使った器具

答え

器具を正しく使うことができるようにしておこう。



(2) (1)の器具を使って水を正しくはかりとっているのはどれですか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

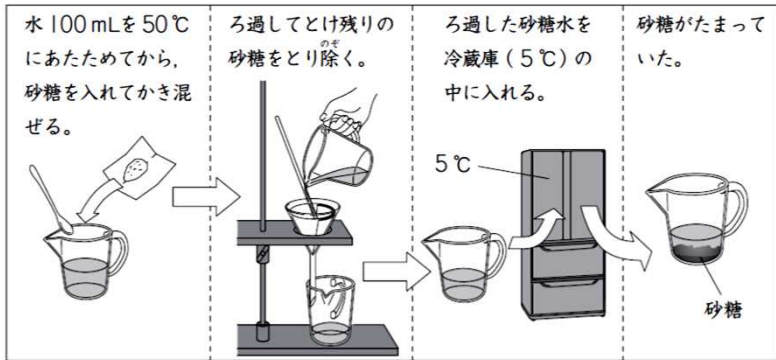


答え

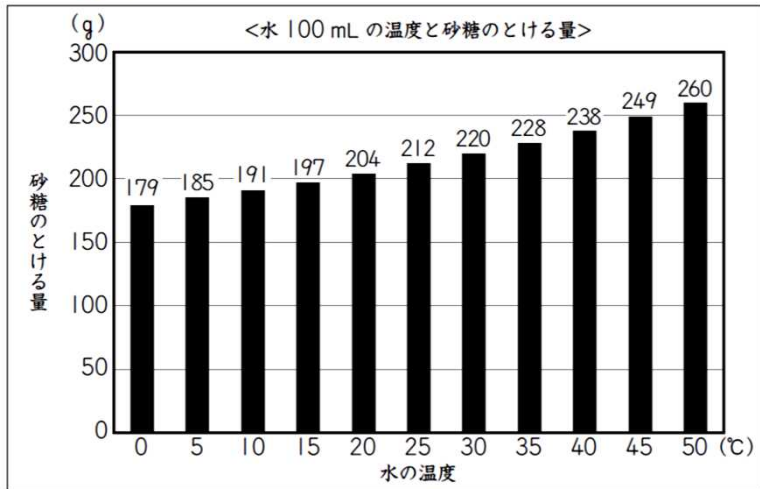
小学校理科学習プリント 5

() 年 () 組 () 番 名前 ()

(3) としおさんは、20℃の水100 mLを50℃にあたためてから、砂糖を入れてかき混ぜました。すると、とけ残りが出たので、ろ過してから砂糖水を冷蔵庫で保管しました。次の日、冷蔵庫からとり出すと、底に砂糖がたまっていました。



そこで、としおさんは、水の温度と砂糖が水にとける量との関係を調べました。



グラフから、ろ過してとけ残った砂糖をとり除いた50℃の砂糖水には、260gの砂糖がとけていることがわかるね。

としおさん



水の温度が下がると、砂糖のとける量が減っていくんだね。

ゆかりさん

前のページのグラフから考えると、砂糖水を5℃の冷蔵庫からとり出したとき、とけきれなくなってたまっていた砂糖は約何gだと考えられますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを書きましょう。

- 1 約19g
- 2 約75g
- 3 約185g
- 4 約260g

グラフは、50℃のところと5℃のところを見ると分かるよ。
わけは、グラフから読み取った砂糖のとける量の変化について書くと、他の人にうまく伝わるよ。



答え	番号	
	わけ	